

令和4年度

事業報告

令和4年4月 1日から

令和5年3月31日まで

公益財団法人 太田記念美術館

I 公益目的事業

1. 浮世絵に関する展覧会の企画および開催

1) 企画展示

太田記念美術館において以下のとおり7つの展覧会を開催した。開館日数は248日間。

新型コロナウイルス感染症拡大の流行による外出自粛等の影響は徐々に弱まり、年間入館者数は、当初の目標である47,000名に対し13,551名多い60,551名(目標対比129%)と、目標を大幅に上回った。

展覧会名	会期	開館 日数	入館者数(人)				
			有料	無料	総計	1日平均	うち小中生
北斎とライバルたち 一般1000円、大高生700円、中学生以下無料	前期 4/22～ 5/22 後期 5/27～ 6/26	54	8,445	351	8,796	163	161
源平合戦から鎌倉へ 一清盛・義経・頼朝 一般800円、大高生600円、中学生以下無料	7/ 1～ 7/24	21	2,816	169	2,985	142	82
浮世絵動物園 一般1200円、大高生800円、中学生以下無料	前期 7/30～ 8/28 後期 9/ 2～ 9/25	47	16,128	832	16,960	361	525
はこぶ浮世絵 一クルマ・船・鉄道 一般800円、大高生600円、中学生以下無料	10/ 1～10/26	22	2,766	159	2,925	133	83
闇と光 一清親・安治・柳村 一般1000円、大高生700円、中学生以下無料	前期 11/ 1～11/23 後期 11/26～12/18	40	11,704	339	12,043	301	121
浮世絵と中国 一般800円、大高生600円、中学生以下無料	1/ 5～ 1/29	22	3,078	181	3,259	148	50
広重おじさん図譜 一般800円、大高生600円、中学生以下無料	前期 2/ 3～ 2/26 後期 3/ 3～ 3/26	42	13,107	476	13,583	323	294
合計		248	58,044	2,507	60,551	244	1,316

2. 浮世絵その他の美術品の収集、保存

1) 美術品の購入

収蔵品の体系的、通史的なバランス、展示計画を考慮の上、版画を65点、版本を1点購入した。

2) 所蔵品の修復

今年度は所蔵品の修復は行わなかった。

3) 収蔵品の保存

浮世絵版画は光に弱く、展示により退色が進むため、作品の展示期間を厳正に管理した。また、温湿度管理、照度管理も厳格に行い、作品保護に努めた。

3. 浮世絵美術ならびに江戸文化の啓蒙普及活動

1) 講座等の開催

① 対面講座

新型コロナウイルス感染症の拡大が続く現状を踏まえ、例年実施している江戸文化講座、夏休み子ども講座の開催を中止とした。また、展覧会関連講演会、若手浮世絵研究者による講演会も同様に中止とした。

② 学芸員によるスライドトーク

展示作品をより深く理解し、浮世絵を身近に感じてもらうことを目的として、担当学芸員によるスライドトークを下記のとおり開催した。参加費は無料。

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度以降中止としていたが、令和4年5月から、感染対策に配慮しつつ、人数制限を行ったうえで再開した。なかでも「広重おじさん図譜」展は反響が大きく、参加希望者が毎回定員を大幅に上回ったため、開催予定回数6回のところ、追加開催を5回、計11回行った。

展覧会名	開催回数	受講者数
北斎とライバルたち	6回	248名
源平合戦から鎌倉へ ―清盛・義経・頼朝	2回	92名
はこぶ浮世絵 ―クルマ・船・鉄道	3回	80名
闇と光 ―清親・安治・柳村	6回	287名
浮世絵と中国	3回	107名
広重おじさん図譜	11回	525名
合計	31回	1339名

③ 日曜映写会の開催

企画展会期中の日曜日に浮世絵の歴史、伝統文化を紹介する映像資料の無料映写会を開催した。

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度以降中止としていたが、令和4年5月から、感染対策に配慮しつつ再開した。

上映内容	『浮世絵 江戸文化の精華(英語字幕付き)』(制作:太田記念美術館)
年間上映回数	50回
観覧者総数	992名

④ オンライン配信講座

美術館の公式YouTubeチャンネルにて、学芸員によるスライドトークの動画を配信した。詳細は、5頁の「ウェブサイト、ソーシャルメディアの運用」の項に記載。

2) 青少年への教育普及活動

青少年への教育普及活動の一環として、美術鑑賞の機会を幅広く提供するため、中学生以下の美術館入場料を引き続き無料とした。また、教育機関の美術鑑賞教育に協力する等、浮世絵美術の教育普及に努めた。

3) 年間パスポート制度

来館者へのサービス向上および浮世絵美術の普及を目指し、例年実施している「太田記念美術館年間パスポート」制度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による臨時休館の可能性のあることから、令和4年度の会員募集は行わなかった。

4) 館外協力

① 教育機関への協力

青少年に対する浮世絵美術の啓蒙・教育を目的として、教育機関の校外学習を受け入れた。うち、学芸員による主な対応は下記のとおり。

実施日	教育機関名	内容	人数
6月21日(火)	青山学院大学	展示解説(「北斎とライバルたち」展)	18名
10月12日(水)	世田谷区立砦中学校	職場体験実習への対応	4名
3月9日(木)	新潟市立新津第五中学校	調べ学習への対応	5名

② 他機関への協力

美術品の貸出を下記のとおり行った。

貸出先	展覧会名	会期	貸出作品・点数
サントリー美術館	大英博物館 北斎 —国内の肉筆画の名品とともに—	R4. 4.16～ 6.12	肉筆画 1点
山梨県立博物館	印章 刻まれてきた歴史と文化	R5. 3.11～ 5. 8	版画 1点

③ 調査研究依頼への協力

所蔵品の特別観覧の申請に対し、以下のとおり11件の研究に協力した。

観覧日	観覧者	調査内容
5月22日(日)	学習院大学 2名	水野年方 版画3点
7月20日(水)	あべのハルカス美術館 1名	歌川広重 肉筆画6点、版画6点、版本2点
8月9日(火)	慶應義塾大学 2名	鳥居清長 肉筆画2点、版画3点、扇2点
11月18日(金)	たばこと塩の博物館 1名	葛飾北斎他 肉筆画2点、版画1点、扇1点
11月22日(火)	サントリー美術館 1名	歌川広重他 肉筆画1点、版画2点
12月7日(水)	大谷美術館 1名	歌川国長 版画4点
12月9日(金)	港区立郷土歴史館 1名	三代歌川広重 下絵1点
12月14日(水)	阿部富士子(扇研究家) 他2名	葛飾北斎 扇2点
1月17日(火)	山口県立萩美術館・浦上記念館 1名	勝川春章他 版画2点、版本2点
1月31日(火)	山梨県立博物館 1名	葛飾北斎 版画1点
3月16日(木)	大英博物館 1名	葛飾北斎 肉筆画5点、扇2点

5) 生涯学習活動への対応

生涯学習センター等の民間組織、団体見学者等に対して学芸員が下記のとおり浮世絵の概要、展示解説等を行った。

展覧会名	人数
闇と光	1団体 16名

6) 広報活動

① マスメディア

・記者内覧会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「北斎とライバルたち」展、「源平合戦から鎌倉へ」展においては記者内覧会は開催せず、内覧を希望する報道関係者ごとに個別対応をとった。

「浮世絵動物園」展以降の全ての展覧会において、感染対策に配慮しつつ、記者内覧会を開催した。

・展覧会ごとにプレスリリースを作成し、マスコミ各社へ送付した。

・浮世絵関心者層の増加、美術館の認知度向上および展覧会のPRを目的とし、新聞、テレビ番組、雑誌等の取材協力を積極的に行った。主な協力内容は以下のとおり。

掲載・放送日	媒体	内容
5月27日(金)	読売新聞	「北斎とライバルたち」展紹介記事掲載
7月29日(金)	日刊工業新聞	「ミュージアム探訪」欄 美術館紹介記事掲載
8月26日(金)	NHK Eテレ 偉人の年収 How much	「浮世絵師 葛飾北斎」 作品撮影、取材協力、出演
9月11日(日)	NHK Eテレ 日曜美術館アートシーン	「浮世絵動物園」展を紹介
10月11日(火)	朝日新聞	「美の履歴書」欄 歌川広重「大井川歩行渡」を紹介 (「はこぶ浮世絵」展出品作品)
11月 3日(木)	NHK Eテレ みつけた!	「浮世絵」 作品撮影、取材協力、出演
12月 4日(日)	NHK Eテレ 日曜美術館アートシーン	「闇と光」展を紹介
1月 1日(日)	NHK BSプレミアム キュレーターバトル!!	番組の取材・監修協力および作品撮影 Twitterにて出題のテーマ「#コレどうなってるの」に沿い、全国の美術館・博物館が所蔵品を紹介。当館は月岡芳年「月百姿」を当館学芸員が出演し紹介した。
3月 7日(火)	BS日テレ ぶらぶら美術・博物館	第429回 表参道アート散策! 浮世絵専門美術館「広重おじさん図譜」展 ～名作続々! 奥深き浮世絵ワールド～ 「広重おじさん図譜」展紹介、出演
3月12日(日)	日本経済新聞 The STYLE	「美の粋」欄 女性絵師と父(中) 葛飾応為 当館収蔵品「吉原格子先之図」を紹介
3月17日(金)	NHK Eテレ 美の壺	第576回「江戸のアート 浮世絵」 作品撮影、取材協力、出演

掲載・放送日	媒体	内容
1月5日(木) 他	読売新聞社運営 情報サイト「美術展ナビ」	美術展ナビ×太田記念美術館コラボ企画「いろはde浮世絵」 全48回 1月5日より月6回のペースで掲載

・写真資料の提供を希望するテレビ番組、美術関連書籍、雑誌等に対してその利用目的等を確認の上、貸出を行い、江戸文化、浮世絵美術の普及に努めた。

② 印刷物の製作・配布

- ・令和4年度年間スケジュールを館内にて配布した。
- ・各展覧会のポスター・チラシを製作し、館内にて掲示・配布するとともに、美術館、博物館、教育機関、公共機関等への配布を行い、展覧会、催事の周知に努めた。
- ・第39回浮世絵研究助成の募集要項チラシ(日本語/英語)を作成し、館内にて掲示・配布するとともに、美術館、博物館、教育機関、公共機関等へチラシ配布を行い周知に努めた。

③ ウェブサイト、ソーシャルメディアの運用

◇ウェブサイト

館案内、展覧会等の情報を展開し、年間を通して随時情報の更新を行った。

◇Twitter

- ・口コミによる情報の拡散を狙い、Twitterを活用して展覧会情報、催事等、美術館ウェブサイトと相互に連携した情報発信を積極的に行うことにより、集客力の向上および幅広い年齢層への認知度向上に努めた。
- ・Twitterフォロワー数は令和5年3月31日現在192,546名。昨年度よりも約2万1千名増加した。

◇YouTube

太田記念美術館公式YouTubeチャンネルにて、集客力の向上および認知度向上のため、展覧会関連動画を12本制作、配信した。詳細は以下のとおり。

配信開始日	動画タイトル	内容
6月19日(日)	「北斎とライバルたち」展スライドトーク① 富士山対決 北斎VS広重	「北斎とライバルたち」展鑑賞の補助を目的としたスライドトークの動画
6月19日(日)	「北斎とライバルたち」展スライドトーク② 富士山対決 北斎VS国芳	
7月13日(水)	「源平合戦の浮世絵①」 〈清盛と平家全盛〉編	「源平合戦から鎌倉へ」展鑑賞の補助を目的としたスライドトークの動画
7月17日(日)	「源平合戦の浮世絵②」 〈義経と源平合戦〉編	
7月27日(水)	「源平合戦の浮世絵③」 〈頼朝と鎌倉武士の時代〉編	
8月12日(金)	「浮世絵動物園①」 〈江戸の人々と愛され猫たち〉	「浮世絵動物園」展鑑賞の補助を目的としたスライドトークの動画
8月28日(日)	「浮世絵動物園②」 〈不思議アニマル3選〉	

配信開始日	動画タイトル	内容
9月21日(水)	「浮世絵動物園③」 〈接近せよ！ 北斎晩年の大作「雨中の虎」〉	「浮世絵動物園」展鑑賞の補助を目的としたスライドトークの動画
2月23日(木)	「広重おじさん図譜」展 学芸員がゆるく語る 第1話	展覧会コンセプト発案の中山道広重美術館学芸員と当館担当学芸員が対談し、展覧会の見どころを紹介する動画
2月23日(木)	「広重おじさん図譜」展 学芸員がゆるく語る 第2話 「広重おじさん図譜」展の見どころ①	
2月28日(火)	「広重おじさん図譜」展 学芸員がゆるく語る 第3話 「広重おじさん図譜」展の見どころ②	
3月21日(火)	「広重おじさん図譜」展 学芸員がゆるく語る 第4話 「学芸員が選ぶ広重おじさんランキング！」	

◇note

浮世絵美術普及のため、メディアプラットフォーム「note」による情報発信を行った。

- ・幅広い層の人々が浮世絵に親しみを感じ、興味関心を抱くよう、様々な切り口から、浮世絵の情報、浮世絵師の逸話などのコラム、展覧会紹介記事等を執筆し、無料で配信した。

発信記事数:10本

主な記事:「北斎は「画狂老人」だというやんちゃな画号をどのようにして思い付いたのかという話」

「北斎と馬琴は同居するほど親密だったという話」

「子ネコたちが寺子屋でお勉強している様子を紹介します」

- ・「オンライン展覧会」と銘打ち、出品作品の画像と解説を有料記事として6本配信した。実際の展覧会と連動する記事の料金は、基本的に入場料と同一とした。

年間の「オンライン展覧会」購入件数は622件で、そのうち令和4年度配信開始分の購入件数は450件だった。詳細は以下のとおり。

配信開始日	記事名	購入件数	内容
4月23日(土)	【オンライン展覧会】 「北斎とライバルたち」展(通期)	55	実際の展覧会と連動 割引価格1,800円とした。
7月 8日(金)	【オンライン展覧会】「源平合戦から鎌倉へ—清盛・義経・頼朝」展	83	実際の展覧会と連動
10月 1日(土)	【オンライン展覧会】 「はこぶ浮世絵 —クルマ・船・鉄道」展	29	実際の展覧会と連動
11月 3日(木)	【オンライン展覧会】「闇と光」展(通期)	105	実際の展覧会と連動 割引価格1,800円とした。
1月15日(日)	【オンライン展覧会】「浮世絵と中国」展	48	実際の展覧会と連動
2月12日(日)	【オンライン展覧会】 「広重おじさん図譜」展(通期)	130	実際の展覧会と連動 割引価格1,500円とした。

7) 他館との連携

- ① 千葉市美術館と連携し、太田記念美術館年間パスポート会員と千葉市美術館友の会会員の相互割引サービスを引き続き行った(当館の令和4年度会員制度は中止)。
- ② 山種美術館と連携し、以下のとおり、広報協力を行った。
 - ・「渋谷で日本美術めぐり 太田記念美術館⇄山種美術館 2館相互割引」と称し、7月9日から9月25日の期間中、下記の展覧会において入館料の相互割引サービスを行った。また、ポスター・チラシの相互掲出も行った。
 - 山種美術館:「水のかたち ―《源平合戦図》から千住博の「滝」まで―」(7月9日～9月25日)
 - 太田記念美術館:「源平合戦から鎌倉へ ―清盛・義経・頼朝」(7月1日～7月24日)
 - 「浮世絵動物園」(7月30日～9月25日)
 - ・上記割引サービスは好評により、3月末まで引き続き実施した。
 - ・山種美術館公式YouTubeチャンネルにて配信の下記動画に当館学芸員が出演した。
 - 太田記念美術館×山種美術館 スペシャルトーク
 - 「今、源平の美術が熱い！ ～展示作品の見どころ紹介～」
- ③ 「はこぶ浮世絵」展において、東洋文庫ミュージアムにて開催の「祝・鉄道開業150周年 本から飛び出せ！ のりものたち」展(10月5日～1月15日)と、入館料の相互割引サービス、ポスター・チラシの相互掲出等、広報協力を行った。
- ④ 「広重おじさん図譜」展における中山道広重美術館との連携
 - ・当展覧会は、中山道広重美術館の協力を得て、同美術館で過去に開催の「ゆる旅おじさん図譜」展のコンセプトを元に、当館所蔵品で新たに構成して開催した。
 - ・当館配信のYouTube動画において、展覧会コンセプト発案の中山道広重美術館学芸員と当館担当学芸員が出演し、展覧会の見どころを紹介した。
 - ・会期中、中山道広重美術館の図録およびミュージアムグッズを受託販売した。
- ⑤ 「広重おじさん図譜」展において、サントリー美術館にて開催の「没後190年 木米」展(2月8日～3月26日)と入館料相互割引サービス、チラシの掲出等、広報協力を行った。

8) 地域との連携

- ① JR渋谷駅、恵比寿駅、原宿駅を結ぶエリアの文化施設連携事業「あ・ら・かるちゃー」の紹介冊子を持参した来館客に対し、入場料割引を行った。
- ② 東京都が行う外国人旅行者向け観光事業「ウェルカムカード」に引き続き参加した。施設割引特典付ウェルカムカード持参の外国人観光客に対して入場料割引を行った。
- ③ 東京地下鉄株式会社、東京都交通局の行う観光客向けサービス「ちかどく」に引き続き参加し、対象乗車券の提示により入場料割引を行った。
- ④ 東日本旅客鉄道株式会社の開催する「駅からハイキング&ウォーキングイベント」に協力し、イベント参加者に対し、入場料割引の特典を提供した。
 - イベント内容：2月15日～19日 「原宿駅」界隈の魅力を満喫しよう

9) ミュージアムグッズ等の制作・販売

① 来館の記念となり、来館者が商品購入を通じて美術に親しみ、関心を深めるためのミュージアムグッズ等を制作、販売した。また、展覧会に関連したグッズ、復刻浮世絵版画、浮世絵関連書籍等を販売した。

当館のミュージアムショップは美術館入館受付と兼ねているため、限られたスペースの中で来館者のニーズに沿うべく、販売商品を考慮のうえ選定し、充実を図った。また、普段は当館に足を運ぶことの少ない青年層やファミリー層等が来館のきっかけとなるような、魅力ある新規グッズの開発に注力した。

令和4年度に制作した美術館オリジナルのミュージアムグッズは下記のとおり。

- ・絵はがき 41種(うち通年販売14種)
- ・額絵 4種(通年販売2種、令和5年度「江戸にゃんこ」展用ミニポスター3枚セット2種)
- ・クリアファイル2種(通年販売)
- ・シール1種(「浮世絵動物園」展用に制作し、好評により通年販売化)
- ・ポチ袋6種(通年販売1種、「浮世絵動物園」展用2種、「浮世絵と中国」展用1種、令和5年度「江戸にゃんこ」展用2種)
- ・マグネット2種(通年販売用新規絵柄)
- ・アクリルスタンド3種(令和5年度「江戸にゃんこ」展用)

② 株式会社フェリシモと、「暮らしの中で楽しむアート」をコンセプトとして令和3年度に共同開発したコラボレーション商品3種を、当館において引き続き販売した。令和4年度も新商品を下記のとおり共同開発し、令和4年8月より取扱いを開始した。

- ・浮世絵の世界を楽しむ ダイカットステッカー〈歌川芳藤〉3種
 - 「兔(うさぎ)の相撲」
 - 「しん板(ぱん)猫のたわむれ踊(おどり)のをさらみ」
 - 「廓通色々 青楼全盛(あそびはとりどりかごのにぎわひ)」

③ 太田記念美術館オリジナルLINEスタンプ(虎子石イラスト1種)を昨年度に引き続き販売した。

④ 当館発行の展覧会図録を、東京国立博物館ミュージアムショップにて委託販売した。

⑤ 「広重おじさん図譜」展において、中山道広重美術館の図録およびミュージアムグッズを受託販売した。

10) その他

① 各展覧会毎に作品タイトル、主だった展示解説について引き続き和英表記を行い、英語版作品リストを作成した。また、英語対応の可能な事務職員が常駐し、外国人観光客の受け入れ態勢の充実に努めた。

② 「北斎とライバルたち」展、「浮世絵動物園」展、「闇と光」展において、会期中2回目以降の来館者に対し、リピーター向け入館料割引を実施した。

4. 浮世絵研究者の育成および助成

1) 内外の新進浮世絵研究者育成のため、第39回浮世絵研究助成を公募し、令和5年2月2日、応募6編全てを選考委員会で審査した結果、次の研究テーマ1編を入選とした。

入選者	入選研究テーマ	助成金
戸塚 史織	勝川派門下絵師の研究	620,000円

選考委員は、河野元昭氏(東京大学名誉教授)、及川茂氏(日本女子大学名誉教授)、大久保純一氏(国立歴史民俗博物館教授)、大石学氏(東京学芸大学名誉教授)、鈴木章生氏(目白大学教授)の5名。選考委員の肩書きは選考会当時のもの。

- 2) 令和3年度入選者・太田丈太郎氏の研究テーマは、ロシアへの渡航が必須であり、助成金の授与を令和5年3月まで保留としていたが、令和6年3月まで再延期した。
- 3) 令和5年2月刊行の『太田記念美術館紀要 浮世絵研究 第13号』に、令和2年度第37回浮世絵研究助成入選者である染谷美穂氏の、助成による研究成果に基づいた論文の提出を受け、掲載した。
- 4) 浮世絵研究者の育成を目的として、研究成果発表の機会を提供することにより、研究活動の支援ならびに研究者相互の交流を図るため、例年開催していた若手研究者の講演会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、開催を見送った。

5. 浮世絵等の資料収集・整備、調査研究および出版

1) 作品の調査研究

- ① 展覧会開催やSNS等での情報発信のため、収蔵品の調査研究を行った。また、特別展開催に向けて他の美術館、博物館、ならびに個人所蔵の関連作品の情報収集を行うとともに調査研究ならびに出品交渉を行った。
- ② 展覧会毎に、来館者の鑑賞体験の充実を支援するための解説パネルの原稿を執筆した。

2) 資料・図書の充実

- ① 収蔵品の調査研究、図録・ブックレット等制作のため、写真撮影を行った。
- ② 作品管理の簡便化を図るため、主要収蔵品についてデジタルデータ化を進めた。
- ③ 展覧会開催および調査研究に必要な図書資料等を購入した。
- ④ 新収蔵品について作品情報データベース、美術品目録、作品カードの整備を行った。

3) 展覧会図録等の刊行

- ① 「闇と光」展の開催にあわせ、ブックレットを刊行した。
- ② 平成27年5月刊行の『葛飾応為 鑑賞ガイドブック』を増刷した。
- ③ 『太田記念美術館紀要 浮世絵研究 第13号』を刊行し、当館学芸員の研究論文を掲載した。
日野原 健司 「小倉柳村の画業、ならびに柳村落款の素描について」

④ 以下の書籍の監修、執筆を行った。

・『暁斎絵本』

監修：太田記念美術館 執筆：日野原健司

発行：株式会社青幻舎(令和4年10月)

⑤ 以下の展覧会の開催にあわせ、「オンライン展覧会」と銘打った記事を執筆し、メディアプラットフォーム「note」を利用して有料で配信した。詳細は「3. 浮世絵美術ならびに江戸文化の啓蒙普及活動」に記載。

- ・「北斎とライバルたち」展(前期・後期)
- ・「源平合戦から鎌倉へ 一清盛・義経・頼朝」展
- ・「はこぶ浮世絵 一クルマ・船・鉄道」展
- ・「闇と光」展(前期・後期)
- ・「浮世絵と中国」展
- ・「広重おじさん図譜」展(前期・後期)

6. 美術館の運営

1) 美術館改修工事

① 4月1日より3週間休館し、1階展示室内の畳敷き小上がり展示スペースの改修工事を実施した。展示ケース前の床面がフラットになり、畳敷き鑑賞スペースに上がるための身体的負担、段差での転倒事故の危険性等が解消し、安全な鑑賞環境となった。また、段差が解消したことにより、空間にゆとりができ、混雑緩和にも大きな効果があった。当工事は公益財団法人東京観光財団の「美術館・博物館等の観光施設の国際化支援補助金」により費用の半額相当の補助を受けた。

② 老朽化した設備を中心に改修工事を行った。主な工事内容は以下のとおり。

1階展示室照明器具改修工事、ハロン容器室出入口扉交換工事、非常照明器具交換工事 他

2) 施設の整備

- ① 来館者が安全、快適に過ごせるよう、適切な保安全管理に努めた。
- ② 地下電灯盤のリモコンスイッチ用リレーおよびトランスを更新した。
- ③ 1階ホールに点検口を設置した。
- ④ 事務室に空調リターン用ガラリを設置した。
- ⑤ 事務室および1階ホール排気口にボリュームダンパーを設置した。
- ⑥ 令和5年度大規模修繕工事に備え、外壁打診調査を実施した。

3) 内閣府による立入検査

令和4年5月19日、行政庁である内閣府による公益財団法人移行後2回目の立入検査を受けた。

検査の講評は、事業の実施状況、法人運営、財務・会計の全てにわたり適正に行われており、「指摘事項なし」であった。

4) 新型コロナウイルスへの対応

「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」(公益財団法人日本博物館協会)に沿い、引き続き感染予防対策を行った。令和3年度の運営から変更が生じた点は以下のとおり。

- ・展示室内の混雑回避のため、中止としていた団体での入館を、事前予約者に限り再開した。
- ・学芸員によるスライドトークを、感染症対策に配慮しつつ、人数制限を行ったうえで再開した。
- ・日曜映写会を再開した。
- ・令和5年度パスポート会員制度の再開が決定し、3月に募集を行った。
- ・「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」が3月13日より改定されたことに伴い、来館者のマスク着用を個人の判断に委ねた。

5) 補助金

- ① 文化庁による「文化芸術振興費補助金(文化施設の活動継続・発展等支援事業)」として259,822円の交付を受けた。対象は感染対策事業、配信等環境整備事業。
- ② 文化庁による「文化芸術振興費補助金(コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業)」として600万円の交付を受けた。対象は「北斎とライバルたち」展、「源平合戦から鎌倉へ」展、「浮世絵動物園」展。
- ③ 公益財団法人東京観光財団による「美術館・博物館等の観光施設の国際化支援補助金」として2,549,000円の交付を受けた。対象は安全・安心の確保事業。

6) その他

台風8号の影響により、来館者および関係者の安全確保のため、8月13日の閉館時間を1時間30分繰り上げた。

II 収益事業(美術館建物の一部を店舗として賃貸する事業)

美術館建物の地下の一部を、てぬぐい専門店である株式会社かまわぬに賃貸した。

Ⅲ 理事会・評議員会等の開催

令和4年6月10日	令和4年度第1回理事会	
決議事項	令和3年度事業報告および収支決算の承認の件 評議員会開催の件	原案通り可決 原案通り可決
令和4年6月29日	令和4年度第1回評議員会	
決議事項	議長選出の件 令和3年度事業報告および収支決算の承認の件	原案通り可決 原案通り可決
令和5年3月8日	令和4年度第2回理事会	
決議事項	令和5年度事業計画および収支予算承認の件 建物特別修繕積立基金の創設および資金の繰入承認の件 建物設備等準備基金への資金の繰入停止承認の件	原案通り可決 原案通り可決 原案通り可決

Ⅳ 官公庁への届出等

令和4年6月29日	内閣府へ事業報告等の提出(令和3年度)を電子申請
令和5年3月15日	内閣府へ事業計画書等の提出(令和5年度)を電子申請

令和4年度事業報告の附属明細書について

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和5年6月

公益財団法人 太田記念美術館